

各位

会 社 名 株 式 会 社 リボミック
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 義 一
 (コード番号: 4591 東証グロース)
 問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 今 井 利 哉
<https://www.ribomic.com/contact.php>

AIでRNAアプタマー創薬を効率化する新技術「RaptScore」の開発と 論文発表のお知らせ

当社は、早稲田大学浜田道昭教授らのグループと共同で、AI（人工知能）を活用した新たなアプタマー探索技術の開発を進めてきました（2024年4月8日公表の【JST・CREST「AIアプタマー創薬プロジェクト」の高評価にもとづく追加支援採択のお知らせ】並びに2025年3月17日付公表の【JST・CREST「AIアプタマー創薬プロジェクト」の成果に基づく早稲田大学との共同出願のお知らせ】）。この度、その成果として、AIでRNAアプタマー創薬を効率化する新技術「RaptScore」の開発に成功し、国際学術誌 Nucleic Acids Research に ONLINE 掲載されましたので、お知らせいたします。

| | |
|--------|---|
| 学術誌名 | Nucleic Acids Research |
| 論文タイトル | RaptScore: a large language model-based algorithm for versatile aptamer evaluation |
| 論文著者 | Kimura-Yamazaki A, Adachi T, Nakamura S, Nakamura Y, Hamada M |
| 論文 URL | https://academic.oup.com/nar/article/54/2/gkaf1480/8425320?utm_source=authorlink&utm_campaign=nar&utm_medium=email |

「RaptScore」は、アプタマーの標的に対する結合をコンピューター上で大規模言語モデル（LLM）により高精度に評価する技術で、実験データに含まれない未知の配列や、長さの異なる配列の評価が困難であった従来手法の課題を LLM の活用により克服し、拡張性の高いアプタマーの探索と設計を可能にするものです。本技術により、アプタマーの開発コスト削減や期間短縮が期待されます。

本件の詳細情報は、共同発表先である早稲田大学の発表サイトに掲載されております
(<https://www.waseda.jp/inst/research/news/83287>)。

本件による2026年3月期業績への影響はございません。

以上